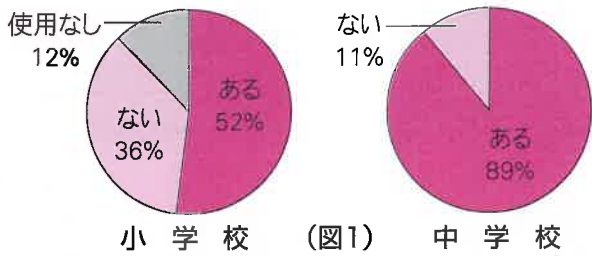
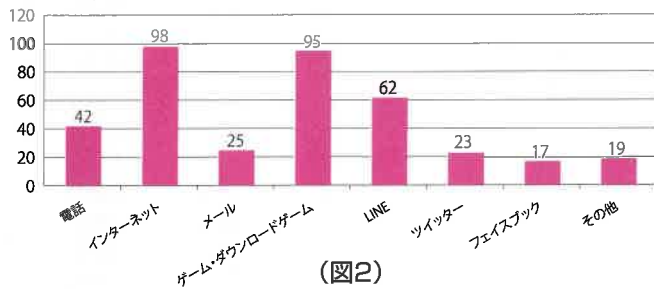


お子さん（自分の）の部屋にテレビ、ゲーム機（DS・PSPなど）、パソコン、スマートフォン、携帯電話、音楽プレイヤーがありますか？



メディア機器をどんなことに使いますか？（複数回答可）中学校



## メディアへの対応 名和小・中学校の取り組み

### 【保育園（所）・小学校・中学校での連携】

名和中学校区では、PTA主催の「目きらきらキャンペン」に取り組んでいます。小学校児童の視力低下が問題となり、生活リズムとメディア問題について取り組んだことが始まりで、現在では保育園（所）や中学校とも歩調を

合わせて行っています。学校のテスト期間に合わせて行うことで、兄弟姉妹で一緒に取り組めるようにしています。毎回達成率が低いのが、「10時までに寝る」という項目で、小学校高学年になるとほぼ達成できない状況でした。10時を過ぎる理由として、

宿題やスポーツ少年団、習い事などに時間を費やすということもありますが、「テレビ・ゲーム・携帯電話等のメディア機器の長時間利用による睡眠不足もあるのではないか」という意見もありました。

名和小・中学校PTAが、今年1月に実施した「メディアアンケート」の結果は次のとおりです。

### 【子どもの周りにネットがあるのは当たり前？】

（図1）「自分の部屋にメディア機器があるか」という項目については、学年が上がると所持率も上がります。しかも中学校では、4分の3の生徒が家庭でスマホが使えると回答しています。つまり、家庭のどこでもインターネットにつながる環境にあることがわかります。

（図2）中学生のみの回答ですが、「メディア機器の使い方」については、インターネット・ゲーム・LINEが上位を占めています。この数年、名和中学校区で

も、携帯電話等でのトラブルやゲームによる基本的な生活習慣の乱れ、オンラインゲームによる睡眠不足から体調を崩す事例が問題となっていました。

### 【家庭のルールは？】

（図3）「メディア機器の使用の際に、家庭のルールはあるか」という項目では、学年が上がると連れて、家庭でのルールがなくなる傾向にあります。「子どもの自主性に任せている」と言えば聞こえは良いですが、インターネットの危険性について知らないまま放任されている場合もあるようです。

ルールを決めている家庭では使用時間や使用場所を決めている場合が多く、使用時間については、平均すると小学校高学年で60分、中学校で80分程度でした。

### 【だからこそ、家庭と学校の連携が大切！】

毎年、中学校の新生説明会では、メディアとの接し方について保護者が学ぶ機会を

設けています。

今年は小学校でも、参観日を利用して親子で「ケータイ・スマホの正しい怖がり方」という演題で講演を聞きました。

メディア、特にインターネットにつながる機器とどのように接していくのか、フィードバック等のセキュリティ対策について、「正しい知識を持ち、家庭や自分でできることに取り組むこと」が求められています。

家庭と学校が連携し、正しくメディアに接することができ、親子も子どもを育てることが、喫緊の課題です。

メディア機器の使用の際に、家族のルールはありますか？

